

## 熊本大学学術リポジトリ

## Kumamoto University Repository System

Title	尼法師 : 文苑
Author(s)	晚霞仙
Citation	龍南會雜誌, 15 : 46 - 48
Issue date	1893-03-27
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2298/4036">http://hdl.handle.net/2298/4036</a>
Right	

深謝芳園第六紅、挿來机上覺春融、交情不出梅花外、自在暗香馥郁中。

天國詩集

春雨賦詩寄弟

全

森田 一雄

阿父平生愛綠醅、對花豪氣更三陪、夜來春雨開梅盡、不識今朝酌幾杯。

春日郊行

全

隈本 繁吉

村閑偷得雨晴時、斜日暖風曳步遲、溪上梅花開笑面、岸頭柳葉展愁眉、孤村香散白雲、  
緩廢寺春深淡霧瀾、最愛嚶々出谿鳥、遷喬也與韻人隨。

新羅三郎足柄山吹笙圖

全

全

聞變鵲鴿去北行、昊天願願令豺狼、秋高足柄山頭月、一曲長歌轉斷腸。

又曰調亦高

尼 法 師

晚 霞 仙

津の國や

須摩の浦曲れ夕景色

入相急く冬の日の

最も終のかげろうは

彼方の峯や磯邊をばさも麗しく染めにけり

されど何時しか其色も

入方近き西の海

波のまに消え果てり

日れもす飛びかふ水鳥も

早何處へか行きにけん

森の小陰や木の下

漸々暗くなるまゝに

時に噪ぐ鳥の音も

今と聞へすなりはて

跡は一入物をさく

松が枝誘ふ浦風に

磯打つ波の音高く

いとい寂しさ勝りけり

比は元暦二年の

時しも冬の半頃

かゝるは冬の習とて

武庫山嵐に夕嵐

降るは深雪か玉霞

實に定ぬるき冬の日や

須摩の關屋の夕千鳥

獨りさやけき月に鳴く

杖を頼みに歩みくる

いとうき若き尼法師

折しも連りに降る雪に

行手も見へぬ許なり

暫し晴間の宿頼む

海士の鹽屋もあらざれば

風に漏りくる花吹雪

斯くあるべきと思ひなば

先の宿にてやどりなん

我侬と頼む知章

去年の戦の其折に

打波繁き須摩の浦

簇る敵は濱千鳥

益々逐ひ來るうの中に

父知盛の身に代り

遂に此土の雪と消ゆ

思へばく怨みなれ

若しも此世に東路に

源氏の族なかりせば

斯くまでつらき世をやらん

降り積りつゝ道もだに

知れぬ深雪の此浦路

今宵は何處に宿らなん

早へ何時しかに野も山も

降り積りつゝ道もだに

知れぬ深雪の此浦路

あゝ又吹くる風風

海士の苦屋もあらんには

今夜一夜も過ぎなん

聞く忠度も先づ年

此浦の邊に行き暮れて

木の下陰を宿とせば

花や今宵の主人とて

櫻の下に一夜をば

驟然とひしとあるま

梢も未だ梢の木の

冬の最中の夕まぐれ

影は何地へあるならん

向しと見れば世が只になほ

戀しきことの多かりき

今や世をすてすてられつ

幸あきことを只にます

須摩の關は屋あればて

やる者もてはあらざれば

どきまは深き雪路哉

聲も憐れに聞へけり

空も漸く晴れ渡り

影幽かなる月のか布

雁のすがたや友千鳥

燈火一ツほの見ゆる

吹く風に

松の小枝の其間より

遙に行手眺むれば

棹を得たるが如くにて

海士の焚く火があるは又

何處の里にあるやらん

渡り兼ねざる海士小舟

讀經の聲も聞ゆなり

之をきく木認め行

漸く近くなるまに

幽に響く鐘の音

讀經の聲も聞ゆなり

如何なる人の庵にや 怪しまふにしたい行く









世を捨てゝ

姿をやつす須摩の浦

通ふ千鳥の鳴く聲に

幾夜寢覺に墨染の

衣の袖をしぼりつゝ

只に浮世をかこたる

昨日の榮華に引きかへて

今ははかなき茅の簷

簀は通ふ水の音に

いと心も澄ねども

澄まぬは巴が姿哉

今日しも雪のふりしかり

早や野も山も何時しかに

皆白砂となりはてゝ

いとし寂きと勝里けり

鹽風寒々夕間暮

蟹の呼聲がすかにて

沖にはるく聞ゆれど

今日は入物寂之

尾は文机側へにし

眞柴折りたき爐のはたに

よひの讀經を初めけり

折しも人のけはひして

音のふ聲の聞ゆをば

主人はいさなふかしく

暫々ためらひ居たりしを

漸く立ちて戸を開けぬ

之や如何なる人やらん

いとち若き尼法師

長き旅路や此深雪

やつを果てに乏其様は

いとしに憐れに見へにけり

浮世を捨てし習ひとて

同し菩提の道の友

奥へしょうどてしめやうに

越方をまも語りけり

雜報

(未完)

○中川校長 新任中川校長と在京嘉納前校長と打合せ済の上赴任の途に就かを去月廿七日門司發一番列車を以て家族一同無事着熊ありたり右に付本校職教員生徒相舉り池田停車場まで出迎したり

○新任披露 中川學校長着校の翌日を以て生徒一同を雨天体操場に集め簡單なる左の如き